

グリーン成長戦略・革新的環境イノベーション戦略の フォローアップの方向性について

2021年11月
経済産業省
産業技術環境局

1. フォローアップの方向性について

2. フォローアップ資料イメージ

1. グリーン成長戦略について

- 令和3年6月18日、関係各局各課及び関係省庁の協力の下、「グリーン成長戦略」を策定。
- グリーンイノベーション基金をはじめ、税、金融、規制・標準化、金融など、あらゆる政策を総動員し、イノベーションに向けた、企業の前向きな挑戦を全力で後押しすべく、グリーン成長戦略の着実な実行が求められる。
- また、『今後も、社会・経済情勢や技術の進展に応じて、適切にフォローアップや、内容や分野等の見直しを行う』こととされている。
※今後の政治情勢や国際動向によっては、急な深堀が求められる可能性も否定できない。

【グリーン成長戦略 P1より抜粋】

2021年現在、民間企業において、「ゲームチェンジ」、「パラダイムシフト」と言えるような経営判断、研究開発方針の変更例が次々と出てきている。この流れを加速すべく、2021年6月に更なる内容の具体化を行った。今後も、社会・経済情勢や技術の進展に応じて、適切にフォローアップや、内容や分野等の見直しを行う。

2. グリーン成長戦略や革新的環境イノベーション戦略のフォローアップについて

- グリーン成長戦略と革新的環境イノベーション戦略のフォローアップを一体的に実施。これにより、合理的かつ効率的なフォローアップとする。
- グリーン成長戦略や革新的環境イノベーション戦略の着実な実行に向けて、以下の観点を中心にフォローアップを実施。
 - 各分野について、グリーンイノベーション基金の各プロジェクトの進捗も踏まえつつ、戦略の実施状況を把握。その際、個別分野毎の把握にとどまらず、分野横断的な視点から、全体を鳥瞰するよう努める。
 - 現状の戦略でリーチできていない領域について、どういった政策ツールが望ましいかを検討。
 - 2050年カーボンニュートラルに向けてカギとなるネガティブエミッション技術について現況を把握。どういった支援が望ましいかを検討。

<参考> グリーン成長戦略・革新的環境イノベーション戦略の一体的PDCAについて

- 革新的環境イノベーション戦略とグリーン成長戦略の2戦略について、内容的な重複が大きいこと、相互に連動している点を踏まえて、PDCAを一体化。
- グリーンイノベーション戦略推進会議・ワーキンググループでまとめて議論を実施する。
- 議論結果を踏まえて、内容をまとめ公表する。

3. 今後のスケジュール

2021年 11月26日 グリーンイノベーション戦略推進会議（第7回）

- 報告事項（グリーン成長戦略等）
- グリーン成長戦略/革新イノベ戦略のフォローアップについて【討議】

12月頃 グリーンイノベーション戦略推進会議WG（第5回）

- グリーン成長戦略/革新イノベ戦略のフォローアップについて【討議】

2022年 1月頃 グリーンイノベーション戦略推進会議WG（第6回）

- フォローアップについて①（14分野中7分野程度）
- ネガティブエミッション技術について①

2月頃 グリーンイノベーション戦略推進会議WG（第7回）

- フォローアップについて②（14分野中残りの分野）
- ネガティブエミッション技術について②

3月頃 グリーンイノベーション戦略推進会議（第8回）

- グリーン成長戦略/革新イノベ戦略のフォローアップについて

1. フォローアップの方向性について

2. フォローアップ資料イメージ

主な目標

現状と課題

革新的環境イノベーション戦略の関連技術テーマ

成長に向けたビジネス環境整備

■ 検討に当たっての視座

【技術】

【ビジネス・マーケット】

■ 今後の取組内容

【技術】

【ビジネス】

【マーケット】

関連するGI基金PJ

■

○○分野（行程表）

※イメージ
（一部内容についてグリーン成長戦略から転記）